



1997.12

# TIA ニュース THE VOICE

編集・発行 財団法人高松市国際交流協会

TIA ニュース・THE VOICEには、高松市の国際交流に関する声をまとめていきます。

No.11

# Index



- ★ “自然・人間・ふれあい” 国際交流青年のつどい in 大串
- ★ 高松まつり国際交流おどり子連
- ★ 歌った！ 踊った！ 外国人のど自慢お国自慢大会
- ★ 日中国交回復25周年記念 日中友好ジュニア卓球大会開催

- ★ フルブライト基金教員20人来高
- ★ リサイクルコーナー in 国際交流フェア
- ★ 姉妹都市情報
- ★ こんにちは！研修生です。
- ★ 市民の友好都市親善研修生が 南昌市へ



- ★ 中学生訪中親善使節団の派遣間近
- ★ ご存じですか？こんな制度
- ★ インターネットおもしろアドレス
- ★ 国際交流団体紹介
- ★ インフォメーション
- ★ 市内外国人数
- ★ 編集後記



(第5回高松国際交流 青年のつどい/高松青年会議所と共催で)

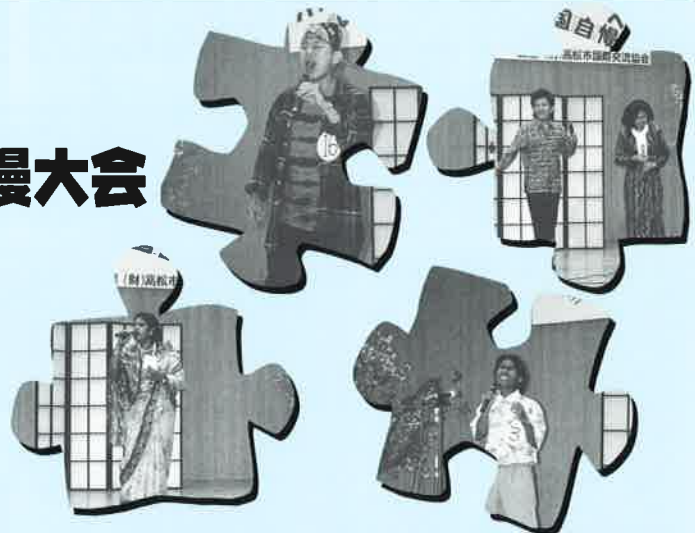


## 歌った！ 踊った！ 外国人 のど自慢お国自慢大会

菖蒲の花が咲き競う6月29日、台風一過の晴天のもと、香川県文化会館にて11カ国50人以上の参加を得て、「外国人のど自慢お国自慢大会」を開催しました。

第1部の“日本の歌のど自慢”では、16人の出場者が日本に来てから覚えた日本の歌を熱唱。観客も審査員も「本当にうまい」としきりに感心していました。

第2部の“お国自慢”では、フランスやバングラデシュ、中国などの留学生や研修生などが、華



やかな民族衣装に包まれて、自国の歌や踊りを披露してくれました。芸能は言葉を越えたコミュニケーションであることを再認識させてもらいました。

また、運営にあたってはKUFSA(香川大学留学生会)、A-JETの会、香川中国人学友会および高松市国際交流ボランティア登録者のみなさまにお手伝いいただきました。ありがとうございました。

ぜひ、来年も多くの方々といっしょにこのイベントを盛り上げていきたいと思ひます。

## 日中国交正常化25周年記念 日中友好 ジュニア卓球大会

日中国交正常化25周年を記念して、日本と中国で友好都市提携している都市どうしがチームを編成した卓球大会が、平成9年8月25日から8月30日までの6日間、北京で行われました。

高松および南昌の選手は、シングル戦ではその実力を十分に発揮し、ダブルス戦においてもお互い力を合わせることで予選リーグを勝ち抜きました。これらの試合を通じて両市の監督やコーチを含めて親善交流を図ることができました。帰国前日の表彰式および懇親パーティは、天安門にある人民大会堂において厳粛かつ和やかな雰囲気のうちに行われました。非常に格式のある大きな建築物である人民大会堂に特別に入場を許された参加者は、その日に見学した万里の長城の偉大さともあいまって中国の歴史と文化の奥深さを感じる事ができました。

また、中国は改革開放にあたって、観光や会議など海外から人を招いて外貨を獲得するビジター産業の育成を重点に行ってきたが、北京はその最たるところで、ジュニア卓球大会が行われた会場も、スポーツのアジア大会が開催された場所で設備も整っており、隣接の宿舎も客室1259室もの大ホテルでした。隣には国際会議場もあり、世界中から客を呼ぶ国際都市北京の現状をかいま見ることができました。



わが国においても、製造業の海外移転が進み、産業構造の改革が求められている中、発展著しいアジア諸国等から訪問客を呼び、ビジター産業を発展させていかなければならない時代となっています。これからの時代、本市においても、外国からの客を呼び込むことのできる国際都市に向けて、環境設備を図っていくことが重要だと思ひました。



高松・南昌チームの高松市参加者

- 団長 高松市卓球協会会長 浜田 勝義
- 選手 予選大会で選出された高松商業高等学校 山浦 崇志

- 引率 高松市日中友好協会 事務局長 漆原美栄子
- 高松市国際交流課 課長補佐 角谷 昇

## 高松まつりに 国際交流おどり子連参加！



今年も8月14日に行われた高松まつり総おどりに、“国際交流おどり子連”として参加しました。今年も、16カ国137人の人に踊っていただき、高松の夏を堪能しました。

当日までに、アイパル香川で、2回の猛練習を重ね、当日は、みんな浴衣に身を包んで、中央通りを楽しく踊りました。



### ◆ボイス from 今西さん



「私が参加したきっかけは、大串で知り合った人とまた会えるという期待があったからです。みんな踊っている途中も、いろんな山車を見て大騒ぎでした。来年は、打ち上げとかをしてもっと交流をはかりたいですね。お疲れ様でした。」

年、打ち上げとかをしてもっと交流をはかりたいですね。お疲れ様でした。」

## ボイス from 舒 清霞さん 「自然・人間 ・ふれあい」

「高松国際交流青年のつどい」は、日本人と在住外国人の青年同士の交流を通じて、相互理解・国際理解を深めることを目指して、1泊2日の野外活動を開催しました。20日、21日とたった2日間でしたが、自然のままの姿に触れることができ、私はとても満足しました。その中でも大串自然公園というところで、自然探索したときのしんどさと楽しさ、またスポーツ交流会のなかで勝ったときの喜びは忘れることができません。

私たちはグループごとに自然探索を始めました。展望台から下りて歩いていると、「あっ、あれは何？相撲競技場？」誰かが大きな声でそう聞いてきま

した。「ぶっはははは」みんな吹き出してしまいました。「あれは野外音楽ホールだよ。広いよね。」探索はまだ続きます。

このホールの地下道を抜けると、そこは“長ぞわい観音”へ行く道が続いていました。道の両側に草花が咲いていました。時折、虫の鳴き声も耳に入ってきました。長ぞわい観音の像。ちょうど海の側に立っていました。「何を見守っているのだろう。」そう考えていると、何人かが観音様に手をあわせて何かを祈り始めました。

人間は違った国籍でも、この素晴らしい自然の力で結ばれ、互いに交流し理解しあって友達になるのではないのでしょうか。私たちの共通の願いは、自然をまもり、自然とふれあい、人間関係を大切にすることであると感じました。



大串自然公園で  
賞品めざして、かけっこ！(上)  
デイビッドとマラーのデュエット(左)



「フルブライトメモリアル基金で米教員19名  
来高」

フルブライトメモリアル基金は、「フルブライト  
交流計画」の50周年を記念して、1997年に  
日本政府により新しく設立された人物交流プ  
ログラムで、米国の初等・中等教育に携わる教  
職員を約3週間日本へ招へいし、参加者に日本  
の教育事情など社会一般を紹介するプログラ  
ムです。11月5日～11月14日まで19州から19  
人の先生達が高松に滞在し、市内の小学校、中  
学校、高等学校、大学で直接授業にふれ、先生  
や生徒たちと交流を深めました。

高松市美術館、高松市図書館や栗林公園の文  
化施設を訪問し、さぬきうどん作りを体験し  
て異文化体験を楽しみました。

また、ホームステイや国際交流団体との座談  
会ではお互いに活発な意見も出され、国際交  
流の輪がさらに広がる有意義なひとときを過  
ごしました。

フルブライトメモリアル基金  
米国人教師団の高松滞在記

● 特集 ●  
集

アピール!



「自分はアメリカ最大の州アラスカ  
出身だ」とアピールすると、後のス  
ピーカーは自分の所は2番目とか、  
香川といっしょで一番小さい」と続き、  
ユーモアあふれる自己紹介でした。  
(問題?アメリカで一番小さい州は  
どこでしょう?)

They are asking!

「高松では市長と議会の力関係は  
どうなっているか?」「教育長に  
はどうしたらなれるか?」など  
表敬訪問のときから熱心に  
聞いていました。この質  
問攻勢は最後のうどん  
作り体験のスケジュール  
までつづきました。  
(なお、前の質問の答  
えを知りたい方はTIA  
までご連絡ください。)



▼給食体験!

▼ホームステイ体験!

▼お習字体験!



生徒といっしょに給食を食べました。  
初めての体験で大喜び。でも、はしゃ  
ぎすぎて当番の生徒に「食事中に話し  
てはいけません」とたしなめられる場  
面も。

1泊2日のホームステイ体験。  
短い期間でしたが、日本の家庭の雰  
囲気を味わってもらいました。

高松一高生徒の指導を受けてお習字  
の練習をしました。

●ご協力くださった方々●

- 高松市教育委員会
- (財)香川県国際交流協会
- 宮城正枝先生(コーディネーター)
- 穴吹荘三先生(尺八の演奏)
- 畑山高千賀先生(琴の演奏)
- 香川大学
- 香川大学附属高松小学校
- 香川大学附属坂出中学校
- 高松市立女木小学校
- 高松市立栗林小学校
- ホームステイ ホストファミリー19家庭
- 高松市立木太中学校
- 高松市図書館
- 高松市美術館
- 能開センター香川本部
- 香川 S G G (香川善意通訳の会) (栗林公園のガイド)
- 地元グループの皆様
- 高松市立第一高等学校
- さぬき麺業(株)

ありがとうございました



ボイス from 花崎さん

ホームステイ受け入れは初めての  
体験でしたので、食事、言葉など  
大変心配でした。しかし、大変フレ  
ンドリーで、「高松市はバンクー  
バーに似てとても美しい街で好き  
き」と言って自分の出身地モンタ  
ナ州を説明してくれたり、家族の  
紹介をしたり、面白い話が沢山で  
きました。また、自分自身が日本  
の文化や歴史にも精通していな  
ければいけない、と感じました。

ボイス from 塩津さん

初めてのホストファミリー体験で、  
家族が協力しあい、家庭内もまと  
まったと思います。自分の塾の生  
徒も外国人と会話が出来たとい  
うことで喜んでいました。子供の頃  
からの国際交流体験が将来のプ  
ラスになると思います。時間が短  
いのが残念でしたが、今後も高松  
の国際交流のお手伝いができれば、  
と思います。

## 白熱！意見交換会

高松市内の国際交流団体のみなさんと  
いっしょに「子育てとボランティア」と  
いうテーマでディスカッションをしま  
した。アメリカにはボランティアを支  
える土壌の他、制度的にも整備されて  
いることや、ある先生の子育てのモッ  
トーなどが発表されて、短い時間な  
がら有意義な時間でした。



宮城正枝先生(コーディネーター)による白熱した意見交換

〈エルドリッジさんの子育てモットー〉

- C : commitment (かかわる)
- H : honor, honesty (誠実)
- I : individuality (個性)
- L : love (愛情)
- D : discipline (鍛練)

- R : respect (尊敬)
- E : encourage (励まし)
- A : appreciate (感謝)
- I : interest (関心をもつ)
- N : nature (自然にある)
- G : goals (目標をもつ)



ボイス

*In my opinion, this format was well organized and opened the door to conversations that the group of American teachers would never have had the opportunity to engage in.*

*We discovered that Japanese and American families have much in common and face a multitude of decisions regarding children and working outside the home.*

*Many women attended the panel discussion and revealed issues concerning how the women in the United States would react or handle a particular set of circumstances.*

*In summation, I think that the positive interaction between all groups provided an intellectual exchange of ideas; an opportunity for men and women to present varying viewpoints, in an atmosphere of mutual respect; and above all it was an ultimate opportunity to learn.*



*Karen McCluskie*

## うどんは偉大だった！

10日間の滞在中、一番もりあがったのは、うどん作り体験でした。はじめて作るうどんに、全員で熱中しました。ある先生は足ふみの工程はワイン作りの足ふみに通じるものがあると、ダンスをはじめて全員で大笑いしていました。やはり、さぬきはうどんですね。



## 大好評！ リサイクルコーナー

今年も11月22日(土)、23日(祝)の2日間、アイバル香川と中央公園で、「かがわ国際交流フェア」を開催しました。当協会では昨年に引き続きリサイクルコーナーをつくり在住外国人のみなさんに、生活用品などを無料提供しました。

初日はあいにくの雨模様だったのですが、大勢のみなさんに品物選びを楽しんでもらいました。

2日間で、延べ10か国266人の外国人が来店しました。特にワープロやファクシミリなどの電化製品には人気があつまり、30名以上の方が抽選会に集まりました。



### ボイス from ボランティアの皆さん

- ・ボランティア同士で仲良くなれてよかったです。
- ・たくさんの外国人の方と知り合いになりました。
- ・英語をもっと勉強しないといけないと思いました。
- ・やってみたら楽しかったです。
- ・抽選がたいへんでした。言葉の問題もあって、混乱してしまいました。

リサイクルコーナーに品物を提供して下さった皆様、当日ボランティアとして活躍して下さいました。どうもありがとうございました。



みなさん、高松市の姉妹・友好都市はご存じですか？

姉妹都市にはアメリカのセント・ピーターズバーグ市とフランスのトゥール市、そして友好都市には中国の南昌市があります。

当協会では、社会人を対象にした親善使節数人を毎年姉妹・友好都市の一市に派遣しています。今年是中国南昌市へ4人の方が11月21日から28日までの8日間の日程で友好訪問しました。

来年度はアメリカのセント・ピーターズバーグ市へ派遣予定です。高松市の広報紙「広報たかまつ」や当



セント・ピーターズバーグ市の高校生

## 姉妹都市

協会からのT I Aばおちなどに募集要項を掲載します。大勢の方のご応募をお待ちしています。

また市内の中学2年生を対象にした中学生訪中親善使節団を毎年3月に友好都市南昌市の南昌市の中学校訪問やホームステイを通じて中国の生徒達と友好交流を図るもので、今年度で7回を数えます。

毎年、10月頃各中学校を通じて募集しております。本年度もきっと元気な親善使節団が訪中し、楽しい交流をしてくれると思います。

### フランス トゥール市



お国自慢大会で「オーシャンゼリーゼ」を熱唱するダグネンさん

現在、香川大学ではトゥール市内の大学から短期留学生派遣のプログラムにより二人の女子大学生が学んでいます。その一人ダグネンさんは、日本の文化にもとても関心があり現在、空手道をならっています。

来年(1998年)は、日本におけるフランス年であり、またトゥール市との姉妹都市提携10周年にあたります。当協会では、これを記念してフランスの宮廷音楽の公演や写真展などの催しを企画しています。お楽しみに。

### アメリカ セント・ピーターズバーグ市

アメリカのフロリダ州にある姉妹都市セント・ピーターズバーグ市からは、32人目になる招へい教師のマーチン・R・ジョンストンさんが高松第一高等学校にきています。ドイツ語、スウェーデン語も話せる愛称ベンさんは、今は一生懸命日本語を勉強中だそうです。

また、同市からは毎年夏休みを利用して二人の高校生が本市を訪問しています。今年、高松に来たホニット・ハーヴィッツさんとピーター・トッドメッガーさんは、ホームステイや文化施設、名所旧跡などを見て高松の良さを体験しました。



高松一高で生きた英語を教えるベンさん

### 中国 南昌市



南昌市からの行政・看護研修生

南昌市は上海から南西約800kmに位置する、中国江西省の省都です。

人口は約400万人、上海から飛行機で1時間強、北京から約2時間ほどの中堅規模の都市です。1927年8月に周恩来ひきいる中国人民解放軍が武装蜂起した都市として中国国内では大変有名です。

昨年開通の京九鉄道(北京-香港)の主要停車駅ですので、国内外から大勢の観光客が南昌を訪れております。また、南昌市から市への行政研修生や技術研修生、また香川大学への留学生などが来高しています。

南昌市には両市共同で建設した友好会館がありますので、南昌訪問の際は是非ご利用ください。

## ご存じですか?

### 国際交流の7つ道具

あなたの国際交流に何かと便利な七つのアイテムを紹介いたします。詳しくは当協会まで。

1

#### 共催・後援および事業費助成

高松市の民間国際交流活動の促進を図るため、国際交流団体等が実施する事業に対し、共催・後援もしくは事業費を助成しております。手続きの方法等のお問い合わせは、直接当協会へお尋ねください。

2

#### “T.I.A.ばおち” “T.I.A.かわら版”

当協会が隔月で発行している“T.I.A.ばおち” “T.I.A.かわら版”は、お手元に届いているでしょうか?これに、国際交流団体等の活動情報を掲載することができます。もし掲載して欲しい記事がありましたら、当協会までご連絡ください。

3

#### 市内地図英語併記(改訂版)

日本語と英語の2か国語で書かれた高松市内の地図が新たにできました。バスや電車の路線図や、通りの名前などがわかりやすく書かれています。初めて高松に来た外国の人にとって大変便利です。必要な方に無料提供しています。

4

#### “ボランティアのための7か国語会話”

英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語と日本語の併せて7か国語の、簡単な言葉を紹介した本です。ホームステイで外国の方を自宅に受け入れるときを想定して、発音方法もカタカナで表わしているのわかりやすくなっています。1冊500円です。

5

#### ボランティア登録制度

ホームステイ、ホームビジット、語学ボランティア、一般ボランティアにわかれて、様々な活動を通して、いろいろな人と交流を図ることができます。ぜひ、皆さんの協力をお願いします。

6

#### 高松市紹介ビデオ

(英語版、中国語版、フランス語版)

高松市を世界中の人に知ってもらうためのビデオがあります。貸し出しもしておりますので、お気軽に当協会までお問い合わせください。

7

#### インターネット案内

高松市のホームページ「もっと高松」

※英語情報もあります!

アクセスしてくださいね。

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp>



徐秋萍です。こんにちは。

私は徐秋萍、今年の7月に南昌市から行政研修生として来ました。高松での研修は6か月ですが、皆様のおかげで楽しい研修生活を送ることができています。

11月7日午前中には、高松市の消防訓練を見学しました。11月9日は、“119”ということで消防の日になっているそうですが、大変規模の大きい訓練で、私はとても感心し

ました。

400人ぐらいの関係者が参加しましたが、訓練内容や手配が大変行き届いており、それに訓練現場は煙につつまれ、本当に出火しているようでした。

消防設備も整備されており、このようにりっぱな施設とよく訓練された消防士の方がいる高松市は大変安全だと思いました。

今後ともよろしく願います。

## 国際交流団体紹介

高松市内には、たくさんの国際交流団体がありますが、今回は“国際親善ひまわり文化交流会”をご紹介します。

### 国際親善ひまわり文化交流会

地域における国際交流として、各地の催しに県内の留学生や研修生を招待して、異文化の交流に努力しています。恒例となった三木町池戸の七夕まつりや、長尾のしょうぶまつり、3月のひなまつり会などを通して国際理解を深め、お互いの交流を深めています。

間近にせまった行事として、講演会があります。

#### 『地域における国際交流フェア』

UNTACのボランティアとしてカンボジアに散った中田厚仁氏の父君、国際ボランティア名誉大使 中田武仁氏の講演

日時：平成10年1月25日 12:30~16:50

場所：三木町文化交流プラザ

演題：「親子とは、教育とは、ボランティアとは」

くわしくは、国際親善ひまわり文化交流会まで

高松市下田井町519(ペガサス内)

TEL 087-847-6003

FAX 087-847-8881



★お正月会～お正月を楽しもう！～

前回は好評だった“お正月会”が、今年もアイバル香川で開催されます。市内外の国際交流団体がいっしょになっての日本の正月の遊び紹介や、世界各国の正月料理、もちつきなど盛りだくさんの内容で、在住外国人といっしょに楽しめる企画にしたいと思っています。乞うご期待！

日時：平成10年1月11日(日)  
場所：アイバル香川

★女性グローバルセミナー

去年に引き続き、今年も女性センターで女性グローバルセミナーを開催します。日ごろ感じていることや、疑問に思っていることなどを話し合ってみませんか。

日時：平成10年1月24日(土) 13:30～15:30  
場所：女性センター

テーマ：出産と育児・あなたの国ではどうですか？

お知らせ  
です！

★高松市内地図

リニューアル！

外国人に好評な高松市内地図を、このたびリニューアル。はじめて高松に来た人に大変便利と好評です。



★第2回国際交流

ボランティアの集い

昨年にひきつづき、国際交流ボランティアのつどいを開催します。みなさんの情報交換の場になるようにしたいと思っております。

日時：平成10年2月22日(日) 予定  
場所：アイバル香川

高松市に今外国人はどのくらいいると思いますか？

外国人登録者は50か国総計1,936人です。1997年10月末現在の主な国別の数は次の通りです。

■ヨーロッパ：

- スペイン (29)
- イタリア (16)
- 英国 (12)
- スイス (6)
- フランス (5)
- ポーランド (2) など

■アジア：

- 韓国または朝鮮 (659)
- 中国 (537)
- マレーシア (15)
- インドネシア (14)
- タイ (13)
- バングラデシュ (7)
- イラン (2) など

■オセアニア：

- フィリピン (273)
- オーストラリア (15)
- ニュージーランド (6) など

■北、中、南米：

- ブラジル (103)
- ペルー (86)
- 米国 (43)
- カナダ (32)
- ボリビア (10) など

■アフリカ：

- タンザニア
- エジプト など

外国人登録国籍別人員調査票より  
高松市  
平成9年10月31日現在

《編集後記》

たくさんの方からのVoiceを寄せていただき、大きく育っていくために、今号から『TIAニュース・The Voice』とリフレッシュしました。

国際化から地球共生時代、そして宇宙時代がきました。高松～世界のVoiceを受信し、発信できる紙面づくりにスタッフ一同、力を結集しています。

m.y



1997年12月 (No.11)



Takamatsu International Association  
財団法人 高松市国際交流協会

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目11番63号  
アイバル香川内  
TEL (087) 837-6003  
FAX (087) 837-6005

I PAL KAGAWA, 11-63 Ban-cho 1-chome  
Takamatsu, Kagawa